

3日(祝)・六所の家
すそみの嫁入り
古式豊かな結婚式を再現



昭和15年頃の花嫁さん(六所の榎田邸)

この地域の結婚式はどんな形でやっていたのだろうか。結婚式も時代とともに色々な形で行われてきたが、お金ばかりかかるといわれるのは最近のことで、今から半世紀前は、素朴で興味深い結婚式だったようだ。

結婚式が行われる時期は、農閑期が多く、大体寒い時期だったという。結婚相手も、比較的近くの人で、他県から来るなどということは滅多になかった。昭和20年代は車を使い始めていたが、大正時代は、人力車、明治時代は馬に乗って、お嫁さんがやってきたという。結納も金銭ではなく、帯を用意したようだ。帯が金銭の替わりなのか？

この地域では、結婚式は、農閑期が多く、大体寒い時期だったという。結婚相手も、比較的近くの人で、他県から来るなどということは滅多になかった。昭和20年代は車を使い始めていたが、大正時代は、人力車、明治時代は馬に乗って、お嫁さんがやってきたという。結納も金銭ではなく、帯を用意したようだ。帯が金銭の替わりなのか？



鯉の腹合わせ

の家まで迎えに行く。そして、お嫁さんの親戚とともにやってくるのである。新郎宅に着くと、家に入る前に下駄にはきかえる。入る時に、玄関の両横で提灯を持った男の子と女の子

提灯を取り替える(提灯取り替え)。お嫁さんは、玄関から台所にまわり、2本の青竹をまたいで座敷に入る。出席者は親戚、組合、人数は奇数で行われたという。宴は、自宅で夜まで延々と続いたらしい。酒飲みには最高の日であったに違いない。三々九度のあとに、「鯉の腹合わせ」というクスツと笑ってしまうような行事があった。

8日(土)・9日(日)
お庭拝見
歴史と趣のある
佐次右衛門邸

田井地区のつくば道沿いには古い民家が建ち並んでいる。今回の秋祭りでは、桜井邸のほか大飯田邸、かまや邸が公開される。敷地内にある建物を拝見する良い機会だ。



桜井邸

庭はやはり豪農であったため広大で多くの植物が植えられている。インキョの東側には、池を中心にもウメ・マツ・ヒバなどが植えられており、縁側から眺める景色は贅沢そのものである。池には筑波山の象徴であるカ

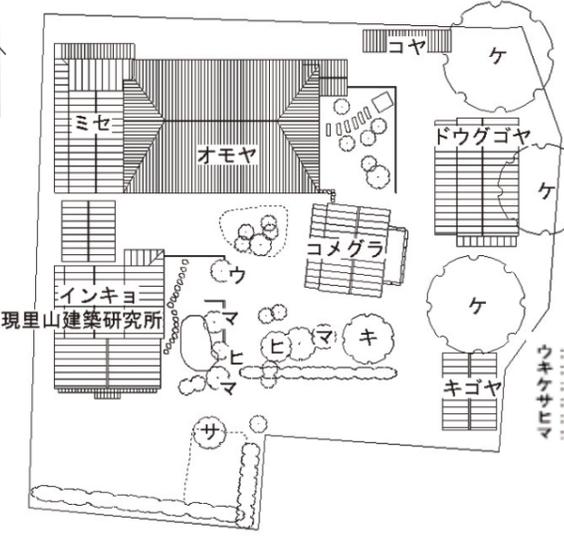


大飯田邸の庭



かまや邸の大木

歴史ある佐次右衛門さんの建物は、オモヤ・ミセ・インキョ・コメグラ・ドウグゴヤ・キゴヤ・コヤからなる。オモヤは、梁を外部まで伸ばし軒を大きくする「せがい造り」が用いられている。これはかつての豪農の象徴である。ミセとインキョは土蔵造りの店蔵であり、ミセではかつて質屋や呉服店を営んでいた。インキョは現在、筑波大学安藤邦廣教授の里山建築研究所として活用され



エル置物があるのがワンポイントになっていて。オモヤの南側も多くの植物で彩られている。ドウグゴヤの周りには、江戸期に植えられたと思われる巨大なケヤキが3本もある。

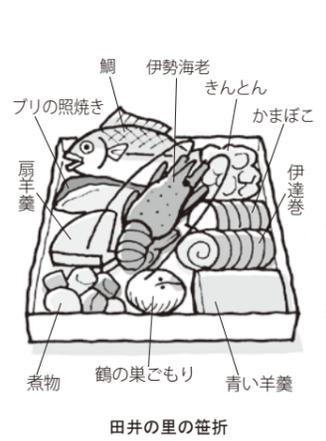
鑑賞の際のお奨めは、縁側に座るなどして視線を下げる。趣あるお庭は、歴史を感じさせ、時の流れを忘れて心落ち着かせてくれることと思う。公開は8(土)、9(日)の2日間。
(高橋淳・筑波大学生)

来たかな」と見ていたとか。お嫁さんは3日目で里帰りした。その時の髪は丸まげにするのだそうだ。すそみの花嫁は、こうしてすそみの地に住み着き、この素晴らしき大地の担い手となっていったのであります。さて、今年の「筑波山麓秋祭り」では、古式に習った結婚式が六所の家で執り行われる。楽しみなことである。
榎田智司(六所地区)



宮司家の門先。3日の日は、花嫁はここを通過して六所の家に向かいます。

●笹折の中にも日本の文化
五十年前の結婚式の祝膳はどのようなものであったのか、神郡の魚屋「なばや」店主古宇田一雄さんに伺った。本膳の膳には刺身・煮物・酢の物・吸物・赤飯、二の膳には笹折がのる。杉で出来た笹折の中に、さんとんで山を、かまぼこで日の出、青羊羹で海を表現し、鯛・伊勢海老・伊達巻・扇羊羹・和菓子の鶴の巣籠り等を詰め、結婚を寿ぐと共に、これから大自然の中で歩む二人の人生を表している。
この地域では笹折、さしみ、焼物



田井の里の笹折

第23回国民文化祭・いばらき2008
筑波山麓秋祭り
田井の里のイベント
みなさんお問い合わせの上、どうぞお越し下さい!!
●詳細はイベントガイドも併せてご覧ください。
このイベントは、田井の里地域づくり愛好会が中心になって企画しています。
会員募集中!

木で遊ぶ
山の木で小さな作品づくり 8日(土)
つくば環境フォーラムでは、筑波山麓の里山の森林を手入れし、切った材の活用を図る活動に取り組んでいます。秋祭りでは、いろいろな木を使って、瓶敷きやネームプレート、アクセサリーなどを作ります。

●棚田の森の整備
荒れた竹林を整備し、竹の子とれる林にします。切った竹は、竹炭の材料や、チップにして防草資材にします。【活動日】9月27日(土)・9月28日(日)・12月13日(土)・12月14日(日)・1月10日(土)他、平日作業日もあります。

●すそみの森づくり
筑波山のお奨めは、縁側に座るなどして視線を下げる。趣あるお庭は、歴史を感じさせ、時の流れを忘れて心落ち着かせてくれることと思う。公開は8(土)、9(日)の2日間。
(高橋淳・筑波大学生)

秋から冬の森づくり活動のご案内
【問合せ】つくば環境フォーラム
029-863-5151
http://www.12.ocn.ne.jp/~te298/